

# Sports Net

## ちば 2023年8月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2023年8月15日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)

発行人 園川 峰紀

通巻 252号

## 37度の猛暑の中

## ~~2年ぶりの反核平和マラソン~~



最近に夏になると常態化している「危険な暑さ？」が関東地方を襲った7月の3連休の最後の7月17日（海の日）。千葉では2年ぶりとなる2023千葉・反核平和マラソンが、ランナー7名（園川・竹村・佐々木・脇村・近藤・今崎・東山）自転車1名（金子）スタッフ2名（田久保・長谷川）合計10名の参加で行われました。

予想されていたとは言え、当日は朝からピーカン！のお天気。水銀柱もうなぎ上りの様子がありあり。



でおろす中、汗をかきかきスタート地点に現れたのは、今回初参加の柏市から見た今崎

さん。聞けば「柏でも反核マラソンをやっていたのですが今年には行わないということでネットで調べて参加しました」とのこと。おまけに真ん中世代という人材で、参加者の平均年齢を一気に押し下げてくれました。

スタート前の記念写真を撮って、10時過ぎに千葉公園をスタート。ゆっくりペースでいくのが反核マラソンにもかかわらず、今回初参加の脇村さんは勢い余ってスタコラさっさとみんなを置き去りに・・・（先導役としては最適？でした）。

スタート後約30分で中継点となる「中央公園」に到着。ここで改めて参加者の皆さんと「反核マラソンは速さを競うのではなく、走ることで沿道の皆さんに反核をアピールするのが目的です」と意思統一。10分の休憩後、ゴール地点の千葉市役所に向け再スタート。千葉駅を抜け、目抜き通りを走りながら道行く人達に反核平和をアピールすることができました。



約1時間の「反核平和マラソン」でしたが、今年には初参加の人を迎えたり、新たな企画（ウォーク・自転車）も入れて実施。全国各地で展開されている「反核平和マラソン」に少しでも役立ったかな？と自画自賛。

約1時間の「反核平和マラソン」でしたが、今年には初参加の人を迎えたり、新たな企画（ウォーク・自転車）も入れて実施。全国各地で展開されている「反核平和マラソン」に少しでも役立ったかな？と自画自賛。



# 2023年度千葉県勤労者スキー協議会スキー協総会



新日本スポーツ連盟千葉県勤労者スキー協議会の2023年度定期総会が2023年7月30日に船橋道祖会館で開催されました。

2015年5月に再結成された千葉県勤労者スキー協議会(以下、千葉スキー協という)は、日々活動を積み重ね9年目に入りました。

会員数44名という小さな協議会ではありますが、コロナ禍にあっても個人的なスキー行など工夫して活動を続けてきました。そして昨年度は3年ぶりに志賀高原での千葉スキー祭典を再開し参加者51名で成功させる事が出来ました。

先シーズンから総会を対面に戻し、今回代議



司会の鳴海さん

そらく懸案事項となっている組織の若返りの課題です。先に行われた全国スキー協議会の総会でも会員の高齢化、クラブ数、会員数、指導員の数の危機的な減少と若い世代の会員が極端に少ないなど組織運営上の課題が話し合われました。

員17名参加で総会を行いました。

酷暑がこれでもかも続く暑い中、集まった代議員からは活発な意見が出されました。

その中でも意見が飛び交ったのは、どの協議会でもお

その中であって千葉スキー協は、昨シーズン退会1名、新入会3名と微々たるものですが前進しています。

3年間待ってましたとばかりに志賀高原で行われたスキー祭典には馴染みの方々が集い、今回は子ども班が再結成後初めて作られ、4人の子どもたちと親御さんが参加して3世代でスキーを楽しみました。

これを力に、次世代にスノースポーツの楽しさを引き継いでいく事が非常に大事であることを参加者全員で確認し合いました。

それではと早速、子どもにスキーを指導する力を指導員がつ

ける事、中・長期的展望を持って、かつては盛んに行われていた子どもスキーの再開を展望する取り組み、そしてホームページを活用して活動を外へ向けて発信することなどを具体化していこうと熱く議論が行われました。

総会終了後はほぼ全員参加で冷たいビール?で打ち上げとなりました。

困難を抱える中でも全国組織である新日本スポーツ連盟の強みを活かし楽しんでいこうと前向きな総会となりました。

スキー以外の競技をされている皆さまもホームページを見ていただき、久々でも年齢にも関係なく楽しんで頂けるスキー行を用意していますので是非遊びに来て下さい。

オフシーズン企画も満載です♪

(千葉スキー協運営委員 児玉三枝子)





# 炎天下の元、文字通りの熱戦が!!

## ~~野球協主催リーグ戦大詰め攻防~~

夏の風物詩「全国高等学校野球選手権（甲子園）大会」に向けて49都道府県代表が出そろった7月30日。第59回千葉県軟式野球大会（千葉県野球協議会主催リーグ戦）が大詰めを迎えていることから久しぶりに観戦に伺いました。

会場は宮野木スポーツセンター野球場。

試合開始を前にグラウンドではスタッフや選手達がトンボや散水作業に大わらわ。時折吹き抜ける風にホッとすも、グラウンドは照りつける日差しでカラカラの状態。このような過酷な条件でしたが観戦した2試合（第1試合「花見川Cat's」対「花園Summits」／第2試合「東京Meteo」対「闘球会」）は、いずれも文字通りの熱戦を繰り広げてくれました。

### 第1試合 花見川が逆転逃げ切り

1回表先行の花園が先制点を奪うも、その裏すぐさま花見川も同点に追いつき2回以降の攻防に移る。花見川先発の松下投手の緩急織り交ぜての投球に花園打線は三振と凡退の山を築くばかり。

一方、花見川打線は中軸がつながり着々と加点。4回終了時点で4対1と有利に試合を進める。5回表花園小林選手の2ランホームランが飛び出し花園も追い上げムードに、しかしこの裏花見川がダメ押しの追加点をあげる。

この時点で試合開始後1時間15分経過していたことから6回表の花園の攻撃を松下投手がびしゃりと抑え5対3でゲームセット。



通算成績を5勝0敗2引き分け（勝ち点15点）としました。

試合終了後花見川・山本監督に「残る3試合の結果いかんでは優勝も夢ではないですね？」と向けると「今日の勝利は先発投手と相手のミスを見逃さなかった打線ですね。残る相手に強いチームもいますが（全部）勝つつもりで臨みます」と力強い言葉がかえってきました。

### 第2試合 打線爆発のMeteoが勝利

闘球会の1回表の攻撃は満塁の好機を生かせず無得点に終わる。

その裏Meteoの打線が爆発。なんと連打に次ぐ連打。闘球会先発投手の投げ込む球を右に左につるべ打ち。取るも取ったり10点をもぎ取る。早くもコールドゲームの様子が漂う展開に。



その後闘球会は2回の攻撃で1点を返しただけ、3回裏にMeteoがダメ押し2点を追加。4回表の闘球会の攻撃を0点に抑え12対2でゲームセット。

通算成績を6勝1負1引き分け（勝ち点19）としました。残り2試合の結果いかんでは同チームにも優勝の可能性が残ります。

試合後にMeteo秋田監督にインタビュー「対戦相手はコールドゲームをくらったチームでしたので今日はそのリベンジとなりました。」終始笑顔で答えてくれたのが印象的でした。



（園川 記）



# クラブ紹介

## SPLASH

### mixバレーボール

クラブ名 SPLASH

代表者 秋山

活動地 佐倉市&千葉市/HP なし

#### 1 チームの概要

2019年に仲よし3人組と共に結成したのがクラブの始まりです。



名前の由来は、代表者（秋山）がサーフィンで20年ほど楽しんでおり、お気に入りのサーフボードのブランド「SPLASH」にちなんでチーム名をSPLASHにしました。

また、SPLASHには「水しぶき」という意味があり、水しぶきのように汗を流すほど沢山の練習を重ねて、試合中も汗を流すほど一所懸命にプレーするという想いを込めて名付けました。

#### 2 チームの特徴：

メンバーには、シニアメンバーが多く、老若男女で楽しくバレーボールをしています。

登録人数は30人ほどで、練習日は木曜日・佐倉市の和田小学校で練習しています。

男女の構成比は男子7割/女子割くらいです。平均年齢は33歳くらい。平たく言えば油が乗り切った年代の選手の集まりでしょうか？！

練習時間は概ね1回につき3時間くらい（19:00～21:00）練習内容は試合形式が中心で、今回初めて参加したミックスバレー大会以外に

男子6人制や男子9人制大会等にも出場しています。



#### 2: クラブのアピールポイント

あまりガツガツせず「楽しい！」をモットーに活動しています。

クラブメンバーにムードメーカーが居てチームを引っ張ってくれています。

私はではありませんがね・・・(笑い)

募部員集はSNSを駆使しています。バレーボールが好きな方であればどなたでもウエルカムです。

大きいことを言うようですが、どこかの地域大会で優勝したいですね！



#### 3: 新日本スポーツ連盟への注文等

特にありません。

今回の春季ミックスバレー大会への出場はインターネットで知りました。メンバーが集まれば是非次回も参加させて頂きたいです

(園川 記)

#### SportsNetちば発行日の変更について

今月号から、発行日が毎月15日に変更になりました。

引き続きご理解とご愛読をお願いします。



## 常任理事会報告

7月21日(金)今年度第3回目となる常任理事会を開催しました。

経過報告関係

- 6/28 卓球大会団体戦29チーム116名  
(花島公園体育館)
- 6/24 全国連盟プロGRESS  
グレートトラバース成功の田中陽希さんの講演  
とポッチャ体験
- 6/23 第2回理事会
- 7/15-16 卓球全国大会団体戦予選
- 7/17 テニス混合D予選  
熱中症による搬送あり
- 7/17 反核マラソン実施

協議関係

- 各競技大会における保険加入について意見交換  
熱中症は保険適用外

ウォーキング協議会のウォーキングの保険加入を徹底

ウォーキング 自家用車利用から公共交通機関へシフトしていくことを検討する

- バレーボール大会の会場確保について  
柏中央体育館も視野に入れ検討していく
- 財政問題について  
予算で入金を予定していたものはほぼ入金完了  
夏季募金振込用紙と依頼文を送付これから  
リレーマラソンからの入金：会計の締め作業を実施中
- 理事会で承認されたPC購入についてはリレーマラソンからの入金を確認してから
- 旅費規程の制定について  
これまで、何の規程もなく支給してきた旅費について改めて規程を作成する。  
併せて、会場までが徒歩圏内の場合支給していなかった旅費について、定額200円を支給することとする規程とする。

## スポーツアラカルト

### スポーツって? そしてその先の「スポーツ文化へ」

千葉市のスポーツ推進委員の仲間と、久しぶりに親睦・交流会を開くことができた。その時、運動種目の名称について談議になったのだが、「わからない」「知らない」のオンパレードで、その場でネット検索をした。サッカーは「アソシエーション」の略、バドミントンとは地名、ラグビーは学校名など、名称の意味や由来は検索できた。

しかしそれで運動種目を理解したことにはならないだろう。運動種目を理解するにはその種目の歴史・技能・ルールなど多岐にわたる知識が必要になってくる。つまり、その運動種目の文化を理解することが求められる。

ところで、運動種目全般を示す言葉として「スポーツ」がある。「スポーツ」は、身体活動と愉悦性、競技性を兼ねそろえたものと考えられるが、最近では



「eスポーツ」などもあり非常にわかりにくい。しかし、各運動種目の文化を理解するように、スポーツを文化としてとらえることが重要と思われる。

私たちは、1995年、創立30年にして2年間の討論の後で、新日本体育連盟から新日本スポーツ連盟に名称を変えた。今では日本体育協会も日本スポーツ協会に改称している。2011年には、「スポーツ基本法」が制定され「スポーツ権」という言葉が明記されている。スポーツが人権の一つとして社会的認知を獲得したといえよう。

「いつでも、どこでも、だれでもがスポーツを」のスローガンのもと、スポーツ文化を広め、人権としてのスポーツを確立するために、ともに歩もう。



# SPORTS CALENDAR

## 8月

8月5日(土) テニス女子D3ペアチーム対抗  
8月5・6日(土・日) 卓球大会全国予選個人戦  
8月6日(日) 野球協リーグ戦(下総運動公園)  
8月11日(金・祝) テニス全国大会予選  
野球協リーグ戦(天台軟式野球場)  
全国テニス協議会審判講習会  
8月13日(日) テニス女子D、混合D、男子D  
野球協リーグ戦(天台球場・硬式)  
8月19日(土) テニス壮年男子S、女子D 45歳以上  
8月26日(土) テニス女子D  
8月16日 県連盟常任理事会  
8月27日 千葉県空手協議会理事会

## 9月

9月10日 テニス協議会関東ブロック混合D  
9月17日 ミックスバレーボール夏季大会  
テニス男子D3ペアチーム対抗  
9月23日 テニス全国大会予選 男女S  
9月30日 卓球ダブルス大会(花島公園体育館)  
テニス女子D3ペアチーム対抗  
9月14日 県連盟四役会議  
9月22日 県連盟常任理事会

猛暑日続く

~~炎天下のスポーツに危険信号続出!? 暑さ対策が必須!!~~

今年の夏は梅雨明けと同時に連日「熱中症警戒アラート」が発出されていますね。この傾向は「世界同時多発テロ」ではありませんが全世界共通のようです。

ヨーロッパでも、北米でも、中国でも、現在夏を迎えている北半球を中心に猛烈な熱波が襲い、普段であれば観光客で一杯となるリゾート地も閑散としているとしてメディアも大きく報道しています。

今日本のスポーツ界では、日本の夏の風物詩ともいえる高校野球の県予選が日本各地で繰り広げられています。

そんな中で心配される事象が報告されています。神奈川県大会の決勝戦(7/28 横浜スタジアム)で試合途中で球審が体調不良で交代。8回途中、体に不調を訴え退き、一塁塁審を務めていた審判員が球審に、予備で控えていた審判員が一塁塁審に入り、試合が続行されたということです。

この日の横浜市の最高気温は37.3℃。試合開始の午前10時から2時間以上たっ

た。

酷暑の中でのプレーが各地で問題となっていますが、プロテクターを身に着け、試合をコントロールし、常に緊張状態にさらされる審判員には選手以上に大きな負担がかかっています。高野連は給水タイムなどの暑さ対策を打ち出していますが、年々厳しくなる異常気象に追いついていないとは言い難い状況です。

翻って、私たちスポーツ連盟が運営している屋外スポーツ大会でも熱中症で危険な状況になった事例が報告されています。

今までなんともなかった人が急に体調不良を訴え、救急車を呼ぶ事態になることもあります。過信は禁物、これからますます熱くなる時期を迎えます。

主催者側としても何らかの暑さ対策を施しながら大会を運営することが求められることを痛感します。



理事長の独り言